

12/9 5

あんな時代もう二度と

かっぱう着姿 タスキかけて

静岡 岡

静岡市母親大会連絡会は8日、葵区呉服町で赤紙(召集令状)配布、戦争法廃止を訴える街頭宣伝を行いました。

かっぱう着姿の母親ら16人は、「戦争はいや」、「平和憲法を守ろう」と書かれたタスキを身につけ、戦争法廃止を求める2000万署名への協力も呼びかけました。赤紙を受け取った通行人が体験談を話し、署名した人たちが安倍政権を批判していました。

水戸秀子事務局長らは、「赤紙1枚で愛する夫、息子、恋人が戦場に駆り出されたのです。2度と戦争を起こしてはいけません。誰の子とも殺させない。戦争法廃止へ声をあげましょう」と訴えました。

赤紙を受け取り「今は戦争前夜だ」という女性(88)は「日本はつらい戦争経験があるのに、また米国と戦争に向かおうとする安倍政権は許せない」と述べました。仕事

召集令状の「赤紙」配り 戦争法廃止訴え



赤紙を受け取る会社員＝8日、名古屋市中区栄

途中に通りがかり署名した女性(24)は「これまでもあまり考えてこなかったが、女性たちの頑張りを見て署名した。これからもっとしっかり考えたい」と話しました。日本共産党の鈴木ちか参院選挙区候補、鈴木節子静岡市議も参加しました。

元自衛隊員も「後輩が心配」

愛知 知

太平洋戦争開戦から74年目となる8日、愛知県内各地で戦争法廃止を求める集会や宣伝が行われました。名古屋市中区のデパート前では、愛知母親大会連絡会の25人が戦時中の召集令状の「赤紙」(複製)を配布しながら宣

伝。「戦争法施行によって『戦争する国』にしてはならない」「戦争法廃止へ来年の参院選で戦争法廃止を掲げる政党を大きくしよう」と訴えました。

赤紙を受け取った永瀬美智江さん(72)は「父は無事にビルマ(ミャンマー)から復員してきましたが、多くの人が赤紙一枚で戦地に行き犠牲になったのです。二度と戦争してはいけないと思います」と話しました。

平和を願い戦争に反対する愛知県戦没者遺族会(愛知平和遺族会)は同区の栄で宣伝。安間慎世話人代表らが「私たち遺族は平和を望みます。『戦争するな』は戦没者の遺言です。戦争法は廃止を」と署名の協力を呼びかけました。

元自衛隊員の男性は「子どもの時に伊勢湾台風にあい、救援で自衛隊に世話になった。恩返しのためだ。後輩の隊員が心配」と話しました。

県平和委員会や愛知憲法会議など10団体でつくる実行委員会は「12・8不戦のつどい」、年金者組合愛知県本部は憲法講座「憲法違反を切る」を開きました。